

# マイクロマシン/MEMS 分野関連 経済報告 2021 年 2 月号

2021 年 2 月 2 日  
(一財) マイクロマシンセンター  
(<http://www.mmc.or.jp/>)

マイクロマシン/MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例報告、機械受注統計調査報告 より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

## 1. 全般動向

### ■ 景気動向指数 令和 2 (2020) 年 11 月分 (速報) の概要

(内閣府、経済社会総合研究所 令和 3 (2021) 年 1 月 8 日発表 より抜粋)

- ① 11 月の CI (速報値・平成 27(2015)年=100) は、  
先行指数 : 96.6、一致指数 : 89.1、遅行指数 : 89.8 となった。

先行指数は、前月と比較して 2.3 ポイント上昇し、**6 か月連続の上昇**となった。  
3 か月後方移動平均は 2.50 ポイント上昇し、5 か月連続の上昇となった。  
7 か月後方移動平均は 2.56 ポイント上昇し、3 か月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して 0.3 ポイント下降し、**6 か月ぶりの下降**となった。  
3 か月後方移動平均は 2.24 ポイント上昇し、5 か月連続の上昇となった。  
7 か月後方移動平均は 1.42 ポイント上昇し、2 か月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して 1.4 ポイント下降し、**2 か月連続の下降**となった。  
3 か月後方移動平均は 0.57 ポイント下降し、15 か月連続の下降となった。  
7 か月後方移動平均は 1.01 ポイント下降し、16 か月連続の下降となった。

- ② 一致指数の基調判断  
景気動向指数 (CI 一致指数) は、下げ止まりを示している。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・景気動向指数「令和 2 (2020) 年 11 月分 (速報) の概要」pdf へ :  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202011psummary.pdf>

■ 尚、1 月 27 日付で「令和 2(2020)年 11 月分速報からの改訂状況」が公表されています。  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/revision.pdf>

- ・(ご参考) 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ :  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（1月）（内閣府、令和3年1月22日（金）公表） （月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より抜粋）

#### <日本経済の基調判断>

##### （現状）【判断維持】

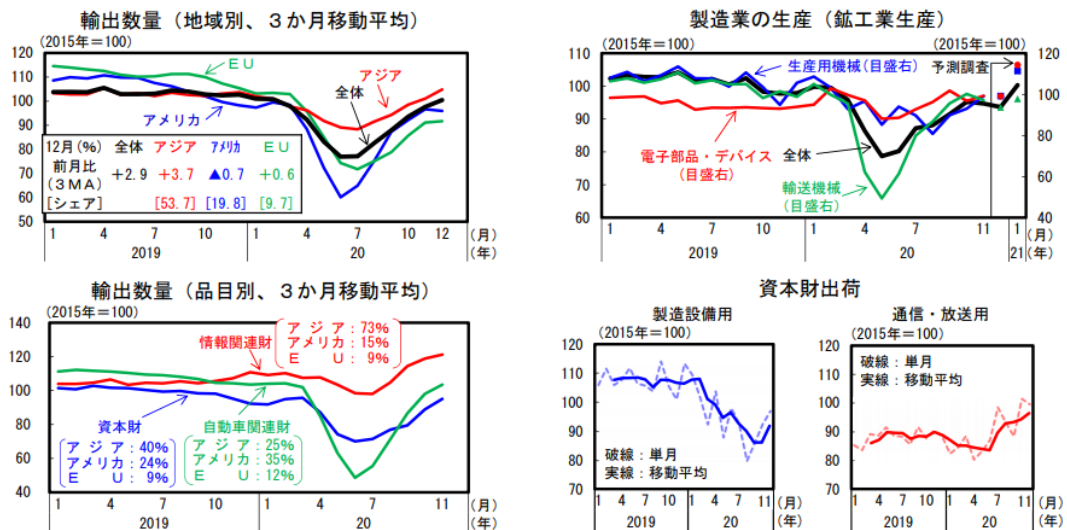
- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。

##### （先行き）

- ・ 先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

#### 今月の指標等(1) 輸出・生産

- 輸出は、増加している。品目別にみると、アジア向けを中心とする情報関連財が好調。また、足下では、設備投資に用いられる資本財も持ち直し。
- 製造業の生産は、持ち直しが続く。資本財輸出の増加や国内での機械投資需要の下げ止まりから、生産用機械が足下で持ち直し。資本財の需要と生産の回復は、出荷統計にも現れている。



(備考) 1. 左上図及び左下図は、財務省「貿易統計(12月速報)」により作成。内閣府による季節調整値。3か月移動平均。EUは全期間にわたり英国を除く27か国ベース。各シェアは2019年の金額シェア。各財の輸出全体に占める割合は、情報関連財15.3%、資本財15.4%、自動車関連財18.6%。  
2. 右上図は、経済産業省「鉱工業指数」により作成。季節調整値。鉱工業生産全体に占める各業種のシェア(2015年)は、輸送機械18.0%、電子部品・デバイス5.8%、生産用機械7.1%。資本財出荷の図の実績は、後方3か月移動平均。資本財出荷に占めるシェアは、製造設備用28.6%、通信・放送用4.0%。

詳細は以下より内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」をご参照下さい。

1 月例経済報告資料 pdfへ:

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2021/01kaigi.pdf>

(ご参考) 内閣府「例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ:

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

■ 設備投資 令和2年11月実績：機械受注統計調査報告  
 (令和3年1月14日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

1. 機械受注総額の動向をみると、2020（令和2）年10月前月比9.7%増の後、11月は同1.5%減の2兆2,663億円となった。
2. 需要者別にみると、民需は前月比7.0%減の9,107億円、官公需は同0.4%増の2,493億円、外需は同5.9%増の9,785億円、代理店は同6.6%減の1,024億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、2020（令和2）年10月前月比17.1%増の後、11月は同1.5%増の8,548億円となった。このうち、製造業は同2.4%減の3,452億円、非製造業（除く船舶・電力）は同5.6%増の5,109億円となった。

対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2019年	2020年				2020年			
		(令和元年)	(令和2年)	4-6月	7-9月	10-12月	(令和2年)	9月	10月	11月
		10-12月	1-3月	(実績)	(実績)	(見通し)	8月	(実績)	(実績)	(実績)
		(実績)	(実績)				(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
受注総額		-5.4	3.9	-17.7	7.8	-7.8	19.8	-4.4	9.7	-1.5
民需		-4.3	-5.1	-8.4	1.9	-3.2	-0.5	-0.3	5.7	-7.0
〃 (除船電)		-1.8	-0.7	-12.9	-0.1	-1.9	0.2	-4.4	17.1	1.5
製造業		-2.8	1.8	-16.6	3.0	-1.9	-0.6	2.0	11.4	-2.4
非製造業(除船電)		3.6	-5.1	-9.7	-2.5	-1.2	-6.9	3.2	13.8	5.6
官公需		-10.5	25.5	2.5	-14.6	-5.9	28.3	20.0	-22.7	0.4
外需		-7.9	8.7	-32.1	28.4	-14.2	49.6	-16.7	20.7	5.9
代理店		-3.1	3.6	-17.0	1.6	2.6	0.5	2.7	6.9	-6.6

(備考) 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

詳細は以下の内閣府 ホームページをご参照下さい。

- ・ 令和2年11月実績：機械受注統計調査報告  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2020/2011juchu.html>
- ・ (ご参考) 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連 TOP ページ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)  
 ～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 公表資料より抜粋)

【結果の概要】

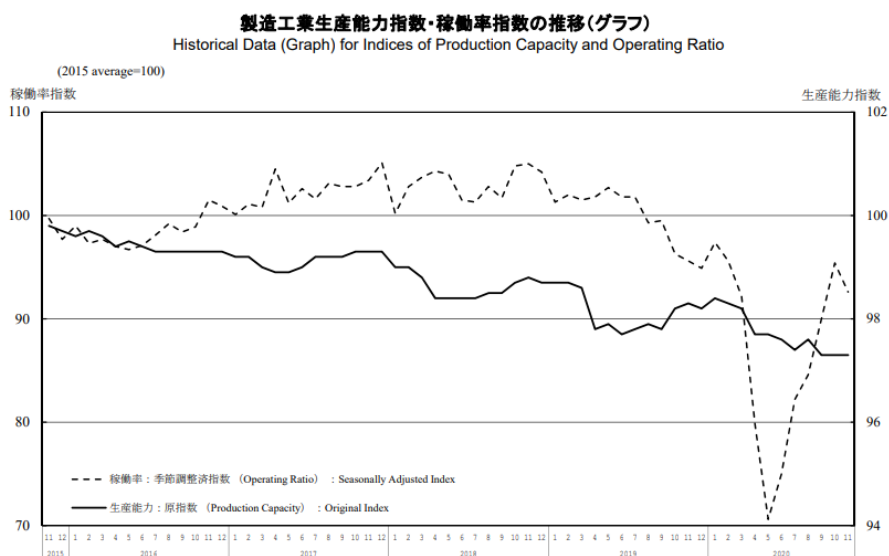
① 2021年1月29日発表【2020年12月分】(速報)より

- ー 生産は持ち直している ー
- ・ 今月は生産、出荷は低下、在庫、在庫率は上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、1月は上昇、2月は低下を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は持ち直している。

▼ 2020年12月の鉱工業指数(速報) pdf資料(経済産業省 HP リンク) :  
[https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202012sj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202012sj.pdf)

② 2021年1月18日発表【2020年11月分】(確報)より

- ・ 製造工業生産能力指数は、97.3で前月比0.0%の横ばい。  
 上昇業種： 生産用機械工業同0.5%、電子部品・デバイス工業同0.2%  
 低下業種： 化学工業同-0.2%、その他工業同-0.2%、  
 石油・石炭製品工業同-0.1%
- ・ 製造工業稼働率指数は、92.6で前月比-2.9%の低下。  
 低下業種： 輸送機械工業同-7.2%、化学工業同-2.1%、  
 電気・情報通信機械工業同-1.3%等  
 上昇業種： 鉄鋼・非鉄金属工業同2.5%、汎用・業務用機械工業同0.8%、  
 パルプ・紙・紙加工品工業同0.7%等



▼ 2020年11月の鉱工業指数(確報) pdf資料(経済産業省 HP リンク) :  
[https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202011nj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202011nj.pdf)

詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

- ・ 鉱工業指数 (トップページ)  
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/index.html>
- ・ 鉱工業指数関連「結果の概要」ページ :  
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2021年1月29日発表より抜粋)

##### 【2020年11月動向概況】

- ・ 2020年11月のグローバル出荷額は3,511億円、前年比111.1%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比115.6% 1,532億円）、接続部品（同104.7% 870億円）、変換部品（同113.6% 620億円）、その他の電子部品（同106.4% 487億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比106.1% 745億円）、米州（同107.7% 308億円）、欧州（同108.6% 332億円）、中国（同114.2% 1,407億円）、アジア・その他（同113.3% 723億円）となった。

##### 【月別出荷金額】

###### 1. 月別出荷金額 (2021.01.29 発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2020年度						2020年度累計		
	9月		10月		11月		4月-11月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,489	104	3,355	103	3,511	111	24,081	95	
(日本)	701	93	742	103	745	106	5,171	89	
品目別	受動部品	1,514	109	1,450	107	1,532	115	10,816	102
	コンデンサ	1,102	112	1,059	111	1,111	116	7,948	105
	抵抗器	121	99	126	104	126	109	908	93
	トランス	32	105	31	98	32	104	234	87
	インダクタ	253	105	231	94	259	119	1,698	96
	その他	3	123	2	52	2	66	26	104
	接続部品	873	99	863	102	870	104	5,978	89
	スイッチ	354	95	354	101	354	102	2,351	79
	コネクタ	515	102	506	102	512	106	3,604	97
	その他	3	86	2	95	3	99	22	73
	変換部品	579	94	579	101	620	113	3,788	84
	音響部品	98	83	102	78	100	79	708	74
	センサ	217	103	212	102	224	109	1,485	92
	アクチュエータ	263	92	264	114	296	137	1,595	84
	その他の電子部品	521	114	461	97	487	106	3,496	102
	電源部品	166	105	167	109	174	111	1,260	102
高周波部品	354	119	293	91	313	103	2,235	102	

##### 【地域別出荷金額】

###### 2. 地域別出荷金額

«2020年度»

地域別出荷金額 (億円)	2020年度						2020年度累計	
	9月		10月		11月		4月-11月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,489	104	3,355	103	3,511	111	24,081	95
日本	701	93	742	103	745	106	5,171	89
米州	322	96	324	101	308	107	2,163	83
欧州	327	99	326	97	332	108	2,084	80
中国	1,446	116	1,272	105	1,407	114	9,849	109
アジア他	695	102	695	105	723	113	4,843	91

詳細は以下の JEITA（電子情報技術産業協会）ホームページをご参照下さい。

[https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上